

左翼新聞の謀略記事？

JJ1SXA/池

2月23日告示、3月2日投開票の石垣市長選で陸上自衛隊配備への賛否に注目が集まる中、琉球新報は23日の朝刊1面トップで「陸自、石垣に2候補地」「防衛省が来月決定」との見出しの記事で、防衛省が陸自部隊の配備地として新港地区とサッカーパークの2カ所を挙げ最終調整に入り、3月までに候補地を決定すると報じた。

防衛省は24日、黒江哲郎官房長名で「候補地を特定し最終調整に入った事実はない」として訂正を求める内容証明付きの申し入れ文書を琉球新報社に送付、新聞協会に西正典事務次官名で「正確・公正さに欠ける、適正な報道を求める」との申し入れ文書も送った、中央省庁が報道機関の記事に関し、新聞協会に申し入れを行うのは極めて異例のこと、左翼新聞の選挙妨害ともとれる虚偽報道だ。

尖閣諸島は石垣市に属する、尖閣防衛のための陸上自衛隊配備は絶対必要だと思うが、相変わらず、左翼は国益を損じることを平気で行う。

市長選には、自民、公明推薦・現職の中山義隆氏と元職の大浜長照氏が立候補、接戦を展開しているが、中山氏は「革新勢力が支援する相手候補を有利にするための謀略記事で、市民を惑わした」と語っている。

正に謀略以外の何ものでも無い、偏向報道を遙か通り越して虚偽報道、新聞という公器を使った暴力だ、こんな暴力は許されない。

以前の、『話題の「はだしのゲン」』(2,Sep,2013)と重複する部分もありますが、ご容赦を、作者の中沢啓治氏は、典型的な反日左翼だった。

第1部は商業漫画誌「少年ジャンプ」に掲載され、原爆の怖さをそれなりに教えたが、第2部は、左派系オピニオン雑誌「市民」、日本共産党機関誌「文化評論」、日教組機関紙「教育評論」等に掲載されるようになり、読者が変わったことで、本性がむき出しになった、何ら根拠も示さず、旧日本軍の蛮行として、…「妊婦の腹を切りさいて中の赤ん坊を引っ張り出したり」「女性の性器の中に一升ビンがどれだけ入るかたたきこんで骨盤をくぐらして殺したり」…などと描いたり、昭和天皇陛下の断罪…「いまだに戦争責任をとらずにふんぞりかえつとる天皇」「殺人罪で永久に刑務所に入らんといけん奴はこの日本にはいっぱい、いっぱいおるよ。まずは最高の殺人者天皇じゃ」…などの記述、私には、とても許せない、小中学校の図書室においてどうしても読ませろというのはどうかと思う、日教組は、喜んで閲覧させろと言うのは当然としても、全国紙「朝日」「毎日」「東京」の批判記事を書いた記者は、漫画を読んだのだから、表現の自由は確保されている、中国・韓国にとって絶好の反日資料だ、虚偽の報道、自虐史感溢れる著作等左翼のやることは、反日一色、亡国への一里塚以外の何ものでも無い。 (1.Mar.2014 記)